

シンポジウム「伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナに学ぶ」

本年8月末米国で発生したハリケーン・カトリーナによる災害は、死者1,000名を超える大災害となりました。また、避難に当たって、大渋滞の発生、道路網の寸断、避難所での混乱など様々な問題が生じました。一方、日本では、昭和34年伊勢湾台風により濃尾平野を中心として5,000名以上の犠牲者が生じました。両地域とも広大な海拔ゼロメートル地帯を擁しており、計画を越える高潮が発生した際には、再び、甚大な被害が生じる可能性があります。そこで、計画を超える高潮等の水害に対する方策等、今後の対応策を議論し、今後に備える具体的な行動を模索することを目的としてシンポジウムを開催いたします。

日時：平成17年12月17日（土）13：30～16：30（3時間）

場所：ウィルあいち（愛知県女性総合センター）4F ウィルホール

〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

TEL 052-962-2511

主催：国土交通省中部地方整備局、日本水フォーラム

協賛：社団法人中部建設協会

後援：愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市

プログラム

1) 挨拶 国土交通省中部地方整備局長 大村哲夫

2) 講演 「米国の治水事業」

講師：元ミシシッピー川委員会委員

元陸軍工兵隊ミシシッピー川管区ビックスバーグ地区長官 ゲリー・ギャロウェイ

3) ハリケーン・カトリーナ現地調査団報告

海部津島水防事務組合十四山村水防団長 廣田 孝喜

名古屋市消防連合会副会長 今吉 恒明

海津市高須輪中水防団長 森 正夫

中部地方防災エキスパート 杉浦 宏

<休憩>

4) パネルディスカッション

テーマ「伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナに学ぶ」

コーディネーター：中部地方整備局ハリケーン・カトリーナ調査団長

日本水フォーラム事務局長 尾田栄章

パネリスト：元ミシシッピー川委員会委員

元陸軍工兵隊ミシシッピー川管区ビックスバーグ地区長官

ゲリー・ギャロウェイ

米国ルイジアナ州東ジェファーソン堤防組合管理部長 ジム・ベイカー

米国陸軍工兵隊水資源研究所上級顧問 ジェローム・デリ・プリスコリ

名古屋市消防団連合会長 安井眞己

長島土地改良区理事長、元長島町長 平野久克

国土交通省河川局海岸室海洋開発官 野田 徹

国土交通省中部地方整備局河川部長 細見 寛